

いちき串木野市地域学校協働活動

学校応援団だより

～できることを できるときに できるところから～

No. 6-2(227)

＝みんなで支える学校 みんなで育てる学校＝

令和6年5月27日

いちき串木野市地域学校協働活動事業本部

“玉ネギ採れたよ” 羽島小学校



5月2日（木）に羽島交流センター近くの枇榔さんの畑で3、4年生が玉ネギを収穫しました。ボランティア4名のご協力でも毎年この時期に収穫しています。

枇榔さんによると今年も天候不良で状態はよくないとの事でした。収穫時の説明を受け子どもたちは一斉に玉ネギを引き抜き始め、買い物袋に入れていました。袋一杯になり持つのも一苦労の児童がいました。

収穫した玉ねぎは6月にカレー作りが計画され、子どもたちはその日を楽しみにしているようでした。

玉ネギ豆知識

- ・ユリ科のネギ属でビタミン・カルシウム・鉄分等ミネラル類が豊富。
- ・原産は中央アジアや地中海で日本には1770年頃に伝わった。
- ・国内では北海道が生産量日本一。
- ・食欲増進や疲労回復が期待され、血液サラサラの効果がある。

イモ苗植えたよ！ 羽島小学校・川上小学校



羽島小学校では 5 月 7 日（火）に学級農園で羽島高齢者クラブのご協力のもと 2 年生がイモ苗植えを体験しました。イモ苗は梅北さんより 80 本提供して頂き、子どもたちは川口さんから説明をうけたあと苗を 1 本ずつ植え、1 つの畝に 2 列に分け、苗を植え込みました。子どもたちは苗を斜めに植え込む要領がつかめないようでしたが、指導者のフォローで無事に植え付けが出来ました。11 月の収穫までの間、水やりや草取り等の管理を子どもたちで実施し、成長を観察します。



川上小学校では 5 月 8 日（水）全校児童が田淵さんの指導でプール横の畑にイモ苗を植えました。高学年が低学年に要領を教えながらイモ苗を植えました。最初に田淵さんから説明がありました。

- ① 芋は斜めに植える。斜めに植えるとたくさんのイモが出来る。
- ② 最初の 1 週間は、根を張るため、毎日水をやる。その後は、水はあまりやらない。なぜなら、イモは南米原産で、乾いた土地を好むから。

イモの種類は紅はるかです。北山先生が実家からもってきた苗です。

苗はバイオ苗で、基腐病予防のため、室内で育てた苗でマルチが張ってある畝に植え込みました。最初、先生がマルチに斜めに棒を差し込み、穴を開け、そこに苗を植えました。

最後にみんなで、「大きくなれ！大きくなれ、おいしいイモになれ」と大きな声で祈りました。イモの神様に届くように。

連絡先＝市来庁舎 3 階 市教育委員会 社会教育課
 (TEL 2 1 - 5 1 2 8) (FAX 3 6 - 5 0 4 4) / ご意見・ご質問・ご相談も下さい
 地域学校支援コーディネーター (有元 操・藤崎 裕史)

* 本応援団だよりは右の QR コードを読み取り、カラー版でご覧頂けます。また、市立図書館（本館）掲示板にも張り出しております。

